

一般社団法人 協力隊を育てる会

第 47 回通常総会

【報告書】

- 1) 2021 年度事業報告
- 2) 2022 年度事業計画
- 3) 2022 年度収支予算

【議案書】

第 1 号議案：2021 年度決算承認の件

第 2 号議案：2022-2023 年度役員承認の件

2022 年 5 月 30 日（月） 於 日本青年館



目 次

【報告書】

2021 年度役員、顧問・参与一覧	P4
2021 年度事業報告	P5
2022 年度事業計画	P23
2022 年度収支予算	P33

【議案書】

第 1 号議案：2021 年度決算承認の件	P35
監事監査報告書	P41
第 2 号議案：2022-2023 年度役員承認の件	P43

注 1：本冊子記載の所属・役職名等は実施当時のものであり、順不同、敬称略にて表記しています。

注 2：本冊子記載の青年海外協力隊をはじめとする JICA 海外協力隊情報（帰国隊員を含む）は、氏名に次いで
【派遣国・職種・隊次（西暦●年度●次隊）】の順で表記しています。

注 3：本冊子では青年海外協力隊をはじめとする JICA 海外協力隊を【協力隊】、帰国隊員を【OV】とした他、全
国育てる会ならびに関係団体の名称を一部省略または俗称にて表記しています。

2021 年度役員、顧問・参与一覧

1	会長	山本 保博	医療法人伯鳳会東京曳舟病院院長
2	副会長	山本 信也	一般財団法人日本青年館理事
3	副会長	水野 秀一	公益社団法人日本青年会議所事務局アドバイザー
4	常任理事	松岡 和久	公益財団法人 CIESF 副理事長
5	常任理事	奥永 眞智子	前一般社団法人協力隊を育てる会事務局長
6	理 事	明石 要一	千葉大学名誉教授、千葉敬愛短期大学学長
7	理 事	上田 みどり	広島県青年海外協力隊を育てる会会長
8	理 事	澤田 澄子	公益社団法人企業メセナ協議会常務理事兼事務局長
9	理 事	重 政子	NPO 法人持続可能な開発のための教育推進会議代表理事
10	理 事	杉下 恒夫	一般財団法人国際開発機構理事長
11	理 事	田口 努	公益財団法人日本 YMCA 同盟総主事・代表理事
12	理 事	棚田 一論	日本青年団協議会事務局長
13	理 事	土井 章	グローバル・コンパクトネットワーク・ジャパン CSO
14	理 事	山根木 晴久	日本労働組合総連合会副事務局長
15	監 事	中村 義人	公認会計士
16	監 事	福瀧 健一	千葉県 JICA 協力隊を育てる会理事

1	顧 問	足立 房夫	公益財団法人国際障害者年記念ナイスハート基金顧問
2	顧 問	大島 賢三	一般社団法人アフリカ協会理事長 ※2021 年 5 月 29 日ご逝去
3	顧 問	黒河内 康	元タンザニア、ナイジェリア、スイス大使
4	参 与	伊藤 隆文	元独立行政法人国際協力機構青年海外協力隊事務局長
5	参 与	井上 俊吾	徳島県協力隊を育てる会会長
6	参 与	大久保 純夫	元一般社団法人協力隊を育てる会事務局長
7	参 与	大貫 康雄	公益社団法人自由報道協会代表理事
8	参 与	小川 一成	茨城県青年海外協力隊を育てる会会長、茨城県議会議員
9	参 与	小原 嘉文	佐賀県協力隊を育てる会会長
10	参 与	坂本 瑞夫	愛知県青年海外協力隊を支援する会会長
11	参 与	高橋 成雄	NPO 法人地球緑化センター顧問
12	参 与	竹原 玲児	一般社団法人日本経済団体連合会国際協力本部長
13	参 与	谷川 与志雄	元独立行政法人国際協力機構青年海外協力隊事務局次長
14	参 与	野口 光一	一般社団法人全国農業協同組合中央会総務企画部総務課
15	参 与	吹浦 忠正	NPO 法人ユーラシア 21 研究所理事長
16	参 与	森高 康行	愛媛県青年海外協力隊を育てる会副会長、愛媛県議会議員

2021 年度事業報告
2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日まで

2021 年度事業方針

【スローガン】

「協力隊は日本の宝、育てて活かす平和の種まき」

【基本方針】

1. 協力隊事業への支援を通じて、世界から信頼される日本と平和で豊かな社会を実現する人材を育成する。
2. 協力隊に参加しやすい社会環境を目指して、全国の育てる会組織の皆様と共に活動する。
3. 協力隊の活動を通じて得た隊員たちの経験が日本の地域社会の活性化に生かされるよう、帰国隊員と自治体、経済団体、市民団体等との橋渡しとなる役割を果たす。

【重点活動】

1. 財政基盤の安定化
2. JICA 海外協力隊の事業価値の理解促進
3. 全国育てる会と JICA 青年海外協力隊事務局とのパートナーシップ強化
4. JICA 海外協力隊事業を通じた「持続可能な開発目標」（Sustainable Development Goals）への貢献

協力隊を育てる会の使命

青年海外協力隊をはじめとする国際ボランティア（以下「協力隊等」という。）事業に市民の立場から参加しやすい社会環境を創り、次世代を担う人材の創出及び育成を図るとともに、協力隊等が得た経験を共有することで多様な価値観を尊重する平和で豊かな社会を築き、国際社会と地域社会の発展に寄与する。

重点活動

財政基盤の
安定化

JICA海外協力隊事業の
事業価値の理解促進

全国育てる会と
JICAとの
パートナーシップ強化

JICA海外協力隊事業
を通じた
SDGsへの貢献

理解促進事業

各種イベント開催

カレンダーの
販売

カタログギフトの
販売

協力隊グッズの
販売

他団体との連携

帰国隊員の
進路支援

助成事業

小さなハートプロ
ジェクト

帰国隊員/青年支援
プロジェクト

馬場医療・福祉
奨学金

地域の育てる会
活動助成

広報事業

育てる会ニュース
の編集発行

web・SNSによる
情報発信

受託事業

クロスロード
編集・発行業務

帰国時情報・事務
管理業務

総務活動

各種会議等の
開催

2021 年度事業報告

【重点事業】

1. 財政基盤の安定化

1) 「クロスロード編集・発行業務」「帰国時情報・事務管理／現職参加促進業務」の再受注

(1) 2021-2024 年 JICA 海外協力隊の情報誌「クロスロード」作成業務

公 示 : 4 月 28 日 (水)

様 式 : 一般競争入札 (総合評価落札方式)

審 査 : 技術提案書 (冊子サンプル制作含む) の提出

入 札 : 6 月 17 日 (木)

結 果 : 受注

契約金額 : 173,907,481 円 (税込) / 158,097,711 円 (税抜)

契約期間 : 2021 年 7 月 1 日 (木) ~ 2024 年 9 月 30 日 (月)

(2) 2021-2023 年度 JICA 海外協力隊帰国情報事務管理・現職参加促進支援業務

公 示 : 7 月 8 日 (木)

様 式 : 一般競争入札 (総合評価落札方式)

審 査 : 技術提案書の提出とプレゼンテーション

入 札 : 8 月 31 日 (火)

結 果 : 受注

契約金額 : 96,946,962 円 (税込) / 88,133,359 円 (税抜)

契約期間 : 2021 年 10 月 1 日 (金) ~ 2023 年 8 月 31 日 (木)

2) 全国育てる会活動経費の確保

実 施 : 通年

状 況 : 2022 年度より JICA による「社会還元促進費」の給付開始

2. JICA 海外協力隊の事業価値の理解促進

1) 全国ネットワークによる現地活動ならびに社会還元活動の事例収集と広報

(1) 「青年海外協力隊帰国者の意識等に関する調査研究」報告書の配布

配布先 : シンポジウム登壇者、全国育てる会・役員等

配布数 : 80 部

(2) 「青年海外協力隊帰国者の意識等に関する調査研究」結果報告の広報

広報媒体 : 育てる会ニュース 2021 年 4 月 (第 439 号)

配布数 : 約 4,000 部

(3) 育てる会ニュースへの連載「After JOCV それぞれの歩き方」

掲載数 : 9 回

(4) 育てる会ニュースへの連載「日本も元気にする青年海外協力隊 OB 会」

掲載数 : 12 回 (40 連載)

備考 : 当連載のスピンオフ企画としてオンライントークイベントも開催

(5) 「日本も元気にする JICA 海外協力隊」パンフレットの制作

制作数 : 22 件 (北海道・東北・近畿・中国・沖縄等 22 道府県)

備考 : JICA 受託業務の一部として実施

2) 次世代育成を目的とした青少年団体等との事業連携の実現

(1) 全国 OV 教員・教育研究会との事業連携

実施 : 10 月～2022 年 1 月

概要 : 12 月 26 日 (日) 開催「第 5 回全国 OV 教員・教育研究会シンポジウム『協力隊を日本の文化にする』～途上国経験を通して得られる力の活かし方～」の広報協力

広報媒体 : 育てる会ニュース 2021 年 12 月 (第 447 号)、帰国隊員 ML (7,393 件)

3) 企業団体向けセミナーの開催

	主催者・会議名	実施日	場所	参加人数
1	ライオンズクラブ国際協会 330-A 地区キャビネット会議	7 月 26 日 (月)	ザ・プリンス パークタワー東京	約 60 名
2	ライオンズクラブ国際協会 330-A 地区ガバナー諮問委員会	8 月 5 日 (木)	レンブラントホテル 東京町田	約 25 名
3	ライオンズクラブ国際協会 330-A 地区 9 月例会	9 月 14 日 (火)	主婦会館 プラザ・エフ	約 20 名
4	ライオンズクラブ国際協会 330-A 地区ガバナー公式訪問事前懇談会	9 月 16 日 (水)	吉祥寺第一ホテル	約 30 名
5	公益社団法人日本青年会議所 2022 年京都会議	2022 年 1 月 21 日～23 日	国立京都国際会館	約 60 名
6	ライオンズクラブ国際協会 330-A 地区合同例会	2022 年 3 月 24 日 (木)	レンブラントホテル 東京町田	約 20 名

備考 : いずれも JICA 受託業務として実施

4) イベント等の開催

(1) 第 46 回通常総会シンポジウム

演 題 : 「地域を創る青年海外協力隊

～『青年海外協力隊帰国者の意識等に関する調査研究』から考える」

日 時 : 5 月 24 日 (月) 16 : 00～18 : 00

場 所 : 日本青年館

概要 : 独立行政法人国立青少年教育振興機構、JICA、当会の三者にて実施した同調査研究をもとに、協力隊経験者という人材の価値や果たすべき役割について考える

主 催 : 一般社団法人協力隊を育てる会

共 催 : 独立行政法人国際協力機構、独立行政法人青少年教育振興機構
講 師 : 明石要一（教育学者）、尾木直樹（尾木ママ／教育評論家）
大西かおり（NPO 法人大杉谷自然学校長、フィリピン OG）
東恵理子（株式会社東美濃ビアワークス代表取締役社長、バングラデシュ OG）
村上徹也（独立行政法人国立青少年教育振興機構青少年教育研究センター長）

状 況 : コロナ禍により開催延期

(2) 2022 年新春の集いシンポジウム

日 時 : 2022 年 1 月 31 日（月）16 : 00～18 : 00

場 所 : 日本青年館

概要等 : 開催延期された前述（1）の企画を同内容にて実施

状 況 : コロナ禍により開催延期

3. 全国育てる会と JICA 青年海外協力隊事務局とのパートナーシップ強化

1) 応募勧奨や人材紹介業の普及協力

(1) 2021 年春募集の広報協力

概 要 : 募集ポスター等の配布、オンライン説明会等の情報拡散

(2) 無料職業紹介事業

概 要 : 帰国隊員 ML による情報拡散（6,887 名分）

2) 現地活動ならびに社会還元活動の事例収集と広報協力

概 要 : 全国の育てる会及び OV からの情報を育てる会ニュース、Facebook にて広報

3) 全国育てる会代表者会議の開催

日 時 : 2022 年 3 月 1 日（火）、3 日（木）、4 日（金）、7 日（月）18 : 30～20 : 00

場 所 : オンライン（Teams）

概 要 : 2022 年度 4 月より新設される「社会還元促進費」制度の説明会として JICA 青年海外協力隊事務局が主催して開催

参 加 : 計 17 組織より各県事務局長等が参加

4) 全国育てる会活動

(1) 愛媛県青年海外協力隊を育てる会設立 30 周年記念式典

日 時 : 10 月 2 日（土）

場 所 : 東京第一ホテル松山

概 要 : ①功労表彰

丸山愛菜（新居浜北中学校生徒）

②記念講演

演題：協力隊の国際貢献と今後の課題

講師：岩田公雄（ジャーナリスト、学校法人学習院フェロー）

参 加：塩崎恭久衆議院議員、山本順三参議院議員、中畑保一県議会議員等 約 40 名

(2) 愛知県青年海外協力隊を支援する会開発教育セミナー

日 時：11 月 27 日（土）14：00～15：30

場 所：なごや地球ひろば

共 催：あいち国際交流はなのき会

概 要：パネルディスカッション

演題：楽しく学ぼう「多文化共生」～現状と私たちができること～

講師：神田すみれ（愛知県立大学多文化共生研究所客員共同研究員）

江口由希子（外国人親子の子育てサロン創設者、トンガ OG）

高橋ひろこ（FM ラジオパーソナリティ）

参 加：あいち国際交流はなのき会会員等 約 50 名

(3) 協力隊を支援するやまがた地球家族の会企業セミナー

日 時：2022 年 2 月 16 日（水）13：30～15：30

場 所：オンライン（Zoom）

共 催：JICA 東北

概 要：JICA 中小企業・SDGs ビジネス支援事業オンラインセミナー

演題：山形県・岩手県発、マレーシアへ！海外と繋がる企業の挑戦

参 加：県内外の法人団体経営者等 56 名

(4) わかやま JICA ボランティア応援団設立 10 周年記念事業

日 時：2022 年 3 月 14 日（月）①13：30～15：00／②17：30～19：00

場 所：①和歌山大学／②ダイワロイネットホテル和歌山

共 催：公益財団法人和歌山県国際交流財団

概 要：①和歌山大学における特別記念講演

演題：国際協力をめぐる最近の動き～JICA の目指すもの～

講師：北岡伸一（独立行政法人国際協力機構理事長）

形式：ハイブリッド開催

②わかやま JICA ボランティア応援団設立 10 周年記念講演

演題：国際協力をめぐる最近の動き～JICA の目指すもの～

講師：北岡伸一（独立行政法人国際協力機構理事長）

形式：会場型リアル開催

参 加：①学生及び一般約 200 名、②県内経済界関係者等約 60 名 計約 260 名

4. JICA 海外協力隊事業を通じた SDGs への貢献

1) カレンダーの制作・販売

概 要：帰国隊員から提供される写真を使用したオリジナルカレンダー

テーマ：「挑戦！」JICA 海外協力隊と SDGs

仕 様 : A4 横／フルカラー／14 枚綴り (28P) ／オリジナル名入れ・メッセージ印字
価 格 : 1 部 1,100 円 (税込／会員 800 円／3 部以上購入の場合 1 部 600 円)
制 作 : 5 月より写真募集／8 月に写真選考／10 月より販売開始
制作数 : 9,500 部 ※増刷 500 部含む (前年度 9,234 部)
販売状況 : 個人購入 957 部／名入れ購入 3,683 部／各県購入 4,481 部／広報配布 107 部
計 9,228 部
備 考 : SDGs バッジプレゼント 2,070 個

【理解促進事業】

1) 各種イベントの開催

国際理解や人材育成、経験の社会還元等、協力隊事業を広く市民に周知する場として、帰国隊員の活動報告会をはじめとするイベント開催を計画したが、コロナ禍により実施には至らなかった。

(1) 家族交流会

対 象 : 隊員家族ならびに協力隊参加希望者等

状 況 : コロナ禍により中止

(2) 帰国報告会

対 象 : 隊員家族ならびに協力隊参加希望者、社会貢献団体、企業・団体関係者等

状 況 : コロナ禍により中止

2) 「持続する情熱」等協力隊関連書籍の拡販

国際理解や人材育成、経験の社会還元等、協力隊事業を広く市民に周知することを目的に、書籍等の紹介販売を行った。

(1) 東京 2020、青少年団体、協力隊採用に関心をもつ自治体等への働きかけ

実 施 : 通年

概 要 : JICA の支援を得て下記団体等へ「持続する情熱」等を寄贈

- ・ 隊員派遣国とホームタウン協定を結んでいる自治体 (約 200 市町村)
- ・ 青少年団体 (『青年海外協力隊帰国者の意識等に関する調査研究』報告書と併せた送付の働きかけ)
- ・ 外国人支援業務等で帰国隊員の採用に関心をもつ自治体

① 青年海外協力隊 50 周年記念誌「持続する情熱」(ダイジェスト版)

販売数 : 1 冊

② 青年海外協力隊 50 周年記念誌「持続する情熱」(完全保存版)

販売数 : 100 冊 (JICA 青年海外協力隊事務局購入)

3) 協力隊関連グッズの販売

(1) JICA 海外協力隊 T シャツの販売

販売数 : 12 着

4) カタログギフト「GLOBAL SPROUT」の販売

OBOG が関わる商品の情報をまとめ、Web 等の広報媒体にて紹介するとともにカタログギフトとして販売した。

ブランド：「GLOBAL SPROUT」（グローバルスプラウト）

概要：帰国隊員が生産する食品・雑貨・化粧品等のカタログギフト販売

売上：53,560 円／12 件

スプラウト・コース@4,280 円×11 件／リーフ・コース@6,480 円×1 件

5) 他団体との連携

協力隊事業と育てる会活動の理解促進を目的に、他団体の実施する各種イベントに参加し、事業広報をはじめカレンダーの販売を行う計画であったが、コロナ禍によりほぼ実現に至らなかった。

(1) 協力隊まつり 2021

主催：協力隊まつり実行委員会

日時：4 月 24 日（土）～25 日（日）10：00～17：00

場所：オンライン（Zoom）

状況：後援名義提供、育てる会ニュース・Facebook 等での広報のみで参加せず

6) 帰国隊員の進路支援

就職や転職、進学、結婚等、帰国隊員の様々なニーズに対して、彼らの経験や持ち味が活かせる人生プランをアドバイスするとともに進路開拓の支援を行った。

(1) 職業紹介

実施：通年

概要：①帰国隊員 ML による就職・転職情報発信（4 回）

②帰国隊員 ML による奨学・助成情報発信（4 回）

③帰国隊員 ML による JICA 無料職業紹介事業の広報（4 回）

(2) 婚活イベントの開催

状況：コロナ禍により中止

【助成事業】

1) 小さなハートプロジェクト

協力隊員が本来の業務以外に企画するプロジェクトに対して、日本全国から寄付を募り支援する事業。コロナ禍に伴い派遣開始となった隊員も少数であったため、今年度は実施しなかった。

支援金額：1 件につき上限 300,000 円

支援件数：今年度はコロナ禍により 0 件

募集期間：通年

審査：審査員により随時実施

2) 帰国隊員／青年支援プロジェクト

公益財団法人三菱 UFJ 国際財団の支援を基に、帰国隊員の国際協力活動及び調査研究活動を支援した。

支援金額：1 件につき上限 500,000 円

支援総額：3,110,310 円

募集期間：7 月 1 日（木）～8 月 31 日（火）

審査選考：10 月 21 日（木）に選考委員会を実施

応募：24 名（協力活動 12 名／調査研究 12 名）

結果：10 名（協力活動 7 名／調査研究 3 名）への支援決定

<協力活動>

	受給者名	派遣国/職種/隊次	プロジェクト名称	活動地域
1	関谷拓朗	モザンビーク コミュニティ開発 2015-2	デジタルソリューションと現場活動を通じた モザンビーク教育セクターの改善	モザンビーク
2	稲垣葉子	マダガスカル コミュニティ開発 2017-1	Manasa Mora （マナサ・ムラ）	ギニア共和国
3	宮本春香	ネパール 環境教育 2018-3	ネパール パナウティの女性達に訓練と自立の機会 を（生理用布ナプキンを生産し、雇用の創出）	ネパール
4	元川将仁	ラオス コミュニティ開発 2019-1	ラオスにおける綿や絹を用いた伝統的手工芸の文 化的資料作成と経済活動への利用	ラオス
5	水谷真由美	ウガンダ 保健師 2006-2	With コロナ時代を生きる多国間の若者が共創する 感染予防対策：限られた資源を活用した Positive Deviance 戦略	三重県
6	綿貫大地	ベナン コミュニティ開発 2017-2	野菜農家の BIO 認証（有機栽培認証）取得プロジ ェクト	ベナン
7	岡本龍太	タンザニア コミュニティ開発 2017-4	タンザニア小規模農家支援のための実証実験	タンザニア

<調査研究活動>

	受給者名	派遣国/職種/隊次	プロジェクト名称	活動地域
1	大西里奈	マラウイ 青少年活動 2017-2	途上国の初等教育における教育方法の改善策とし ての協同学習に関する調査研究	兵庫県
2	谷中大翔	インド コミュニティ開発 2019-1	インドの事例研究に基づくギグエコノミーの労働 形態を評価する手法の研究	インド イギリス
3	平尾莉夏	ベナン コミュニティ開発 2017-1	ベナン共和国ジュグー市における家庭ごみ組成調 査	京都府 ベナン

3) 馬場医療・福祉奨学金

医療・福祉分野への就学や就職を希望する帰国隊員を対象に、返済義務を付した奨学金を給付し支援する計画であったが、今年度は実施せず。

支援金額：1 件につき上限 500,000 円

支援総額：500,000 円

募集期間：7 月 1 日（木）～8 月 31 日（火）

審査選考：帰国隊員／青年支援プロジェクトの審査選考と併せて実施

応募：なし

結果：支援者なし

備考：2021 年度をもって事業終了

4) 全国育てる会活動助成

全国育てる会が実施する協力隊事業の理解促進等の諸活動に対し、助成金を給付した。

支援金額：1 組織に就き上限 80,000 円

申請期間：2022 年 2 月 10 日（木）～3 月 13 日（日）

給付時期：2022 年 4 月 2 週目

給付金額：40 組織／3,219,770 円

対象事業：以下の 4 事業

- ①協力隊に参加し易く、その経験を地域に活かす社会環境整備活動
- ②協力隊事業の理解促進のための広報啓発活動
- ③「協力隊の応援団」を地域で増やす支援者拡充活動
- ④全国育てる会の連携活動

備考：2021 年度活動等に関するアンケートを実施

5) コロナ禍に対する各種支援

帰国隊員による社会還元活動支援ならびに他団体との連携事業として以下のとおり実施した。

(1) 子ども食堂への食品等配布

支援先：台東区子ども食堂

支援品：栄養食品・栄養ドリンク×約 200 食、お米、お菓子等

実施日：7 月 24 日（土）、10 月 28 日（木）

物資提供：公益社団法人日本青年会議所

支援協力：東京零環ライオンズクラブ

(2) ベトナム技能実習生・留学生への食品等配布

支援先：大恩寺

支援品：アルファ米・パン缶詰×200 食、コーヒー×400 食、インスタント麺・フルーツジュース・お菓子等×100 食分、お米×60kg、洗剤等

実施日：6 月 16 日（水）、7 月 31 日（土）、10 月 6 日（水）、10 月 26 日（水）

物資提供：東京新橋ライオンズクラブ、東京零環ライオンズクラブ、Whats 交流会
支援協力：東京零環ライオンズクラブ

【広報事業】

1) 「協力隊を育てる会ニュース」の発行

全国育てる会と会員、派遣中の協力隊員、帰国隊員、法人団体等の支援者とを結ぶ“育てる会活動の情報ツール”として、全国の活動や帰国隊員の取り組み、協力隊事業の動向等を紹介した。

発行数：約 4,000 部／毎月（赴任中の協力隊員には PDF 配信）

仕様：モノクロ／タブロイド版／4 ページ

構成：1 面～最新トピックス

2 面～全国育てる会や地域の支援者の活動紹介

3 面～派遣中隊員、帰国隊員向けの支援情報

4 面～各種インフォメーション

2) Web や SNS による情報提供

一般から隊員家族、派遣中隊員、帰国隊員まで、協力隊事業ならびに育てる会活動を広く周知するため、Web や SNS を活用した広報を更に充実させるとともに以下の情報等を発信した。

- (1) 全国育てる会活動の最新トピックスや各種イベント情報（告知及び報告等）の提供
- (2) 帰国隊員が関わる事業や商品情報の提供
- (3) 各種支援情報の提供

3) メーリングリストによる情報提供

派遣中隊員や帰国隊員に育てる会活動を広く周知し、人的ネットワークの充実化と社会還元の促進を図るため、以下の情報等を発信した。

- (1) カレンダー写真の募集
- (2) 帰国報告会等講師の募集
- (3) 各種支援事業の告知
- (4) 就職・進学情報の告知
- (5) 各県組織からの情報提供
- (6) 会員団体からの情報提供

4) 全国育てる会へのメーリングリストによる情報提供

コロナ禍にて応援団の活動が制限される中、JICA海外協力隊事業に関する知識・情報を蓄積するとともにより事業への関心を高めることを目的に、一時帰国中隊員の動向や帰国隊員による社会還元活動等を各種メディアから抽出し、以下のとおり発信した。

(1) メディア情報

内容：全国紙や地方紙、web等から集めたJICA海外協力隊に関するニュース

方 法 : メールリングリスト

配信回数 : 月に1~2回

配信件数 : 18回/240件程度 (1回あたり10~15件程度)

(2) JOCV Update

内 容 : JICA青年海外協力隊事務局が国内機関等宛に発信している協力隊関連情報

方 法 : メールリングリスト

配信回数 : 2週間に1回

配信件数 : 24回/250件程度 (1回あたり10件程度)

【総務活動】

1) 各種会議の運営

一般社団法人としての的確な組織運営ならびに事業活動の推進を目的として、役員会等の各種会議を開催した。

(1) 第46回通常総会

日 時 : 5月24日(月) 15:00~

場 所 : 育てる会事務局

概 要 : 書面決議にて実施

(2) 理事会

年3回の開催

第1回	第2回	第3回
5月7日(金) 書面決議	12月10日(金) 15:00~17:00 於 日本青年館	2022年3月9日(水) 15:00~17:00 於 連合会館

(3) 常任理事会

原則として四半期ごとに開催

7月期	10月期	12月期
7月9日(金) 15:00~17:00 於 日本青年館	10月7日(木) 15:00~17:00 於 育てる会事務局	12月3日(金) 14:00~16:00 於 育てる会事務局

(4) 顧問・参与会議

原則として年2回程度の開催

日 時 : 12月10日(金) 17:30~18:30

場 所 : 日本青年館

概 要 : JICA 青年海外協力隊事務局長による事業現況説明等

2) 各種交流会等の開催及び参加

(1) 第46回通常総会シンポジウム・交流会

開 催 : コロナ禍により中止

(2) 2021 年度 JICA 慰霊式

日 時 : 10 月 12 日 (火) 15 : 00~15 : 15

場 所 : JICA 市ヶ谷

参 加 : 松岡常任理事、大石事務局長

(3) 2021 年度 JICA 理事長表彰を祝う会

開 催 : コロナ禍により中止

(4) 「新春の集い」

開 催 : コロナ禍により中止

3) 会員現況

(1) 新規入会

①野毛坂グローバル

入 会 : 11 月 8 日 (月)

業 種 : NGO (コミュニティ活動)

口 数 : 団体 1 口

会員種別		会員数
社団法人	個人	320 (入会数 4)
	団体	85 (入会数 1)
	法人	23 (入会数 0)
	計	428 会員
全国育てる会	個人／団体／法人	2,135 会員
合 計		2,563 会員

4) 受章等

(1) 令和 3 年春の褒章・叙勲

【旭日小綬章】

・ 柿内愼市 (徳島県協力隊を育てる会顧問、株式会社徳島大正銀行取締役会長)

・ 中川清 (茨城県青年海外協力隊を育てる会顧問、前土浦市長)

【瑞宝中綬章】

・ 鈴木誠一 (青年海外協力隊とちぎ応援団、前栃木県副知事)

【瑞宝双光章】

・ 山本明 (群馬県青年海外協力隊を育てる会副会長、NTC インターナショナル株式会社特別顧問
フィリピン・農業土木・1969-3)

(2) 令和 3 年秋の褒章・叙勲

【旭日小綬章】

・ 水沼富美男 (青年海外協力隊とちぎ応援団副会長、元株式会社とちぎテレビ代表取締役社長)

【旭日双光章】

- ・ 松本真理子（奈良 JICA ボランティア応援団理事、元奈良県教育委員長、マリンバ奏者）

【瑞宝双光章】

- ・ 天野暢保（愛知県青年海外協力隊を支援する会副会長、元安城市文化財保護委員長）
- ・ 八角幸雄（千葉県 JICA 協力隊を育てる会理事、元外務省職員、チュニジア・電子機器・1975 後期）

(3) 令和 3 年度外務大臣表彰

- ・ 小早川明德（福岡県青年海外協力隊を支援する会顧問、一般社団法人地域企業連合会代表）

(4) 第 17 回 JICA 理事長表彰

- ・ 岐阜県青年海外協力隊を支援する会
- ・ 金子正美（北海道県青年海外協力隊を育てる会会長、酪農学園大学農食環境学群教授、マレーシア・村落開発普及員・1989-1）
- ・ 浅沼修一（JICA ボランティアを支援するいわての会理事、名古屋大学名誉教授、元国際協力専門員）

5) 訃報

- ・ 大島賢三 5 月 29 日（土）
（一般社団法人協力隊を育てる会顧問、一般社団法人アフリカ協会理事長、元独立行政法人国際協力機構副理事長）
- ・ 佐々木寛侑 6 月 10 日（木）
（元福島県青年海外協力隊を支援する会常任理事、郡山商工会議所相談役）
- ・ 竹下亘 9 月 17 日（金）
（島根県青年海外協力隊を育てる会創立者、衆議院議員）
- ・ 筑紫汎三 10 月 9 日（土）
（熊本県協力隊を育てる会相談役、元進路相談カウンセラー、元熊本県国際協会理事長）
- ・ 中根千枝 10 月 12 日（火）
（第 2 代一般社団法人協力隊を育てる会会長、社会人類学者、東京大学名誉教授）
- ・ 小池美代子 12 月 5 日（日）
（熊本県協力隊を育てる会常任理事、初代アサンテサーナの会会長、元隊員家族）
- ・ 宮澤保夫 2022 年 3 月 23 日（水）
（神奈川県青年海外協力隊支援協会会長、星槎グループ会長）

6) 派遣隊員へのガイダンス

時 期 : 訓練再開に伴い、オンラインにて随時実施中

場 所 : 二本松訓練所、駒ヶ根訓練所

概 要 : 育てる会活動の説明ならびに個人情報の収集

隊次	実施日	担当者
2021 年度 1 次隊	4 月 30 日（金）	高木
2021 年度 2 次隊	7 月 2 日（金）	高木
2021 年度 3 次隊	9 月 10 日（金）	高木
2021 年度 4 次隊	11 月 12 日（金）	吉田
2021 年度 5 次隊	2022 年 1 月 28 日（金）	吉田

7) 帰国隊員へのオリエンテーション

時 期：コロナ禍によりオンラインにて随時実施中

場 所：JICA 市ヶ谷

概 要：育てる会活動の説明ならびにメールアドレス等の収集

隊次	実施日	担当者
派遣期間終了隊員 （2021 年 3 月合意書解除者） ※2018-4/2019-1/2019-2/2019-3	4 月 14 日（水）、15 日（木）、16 日（金）	渡辺
派遣期間終了隊員 （2021 年 4 月合意書解除者） ※2019-2	5 月 12 日（水）	渡辺
派遣期間終了隊員 （2021 年 5 月合意書解除者） ※2019-1/2019-2/2019-3	6 月 16 日（水）、7 月 7 日（水）	渡辺
再赴任からの帰国者 ※2019-1/2019-2/2021-7/2021-9	7 月 30 日（金）、8 月 4 日（水）、 9 月 15 日（水）12 月 10 日（金）、24 日（金） 2022 年 1 月 19 日（水）、2 月 14 日（月）	渡辺 丸山 吉田

8) 人事

(1) 社団事務局職員

①復職

内島弘太（10 月 1 日付 パラグアイ調整員→事業部/JICA 竹橋勤務）

②異動

吉田晴乃（10 月 1 日付 事業部/JICA 竹橋勤務→事業部/事務局勤務）

③退職

滝澤航爾（9 月 30 日付 クロスロード編集長）

阿部摩里恵（9 月 30 日付 クロスロード編集部）

高木瑞恵（10 月 31 日付 事業部/事務局勤務）

渡辺翔（12 月 20 日付 事業部/JICA 市ヶ谷勤務）

大竹幸乃（2022 年 3 月 31 日付 クロスロード編集部）

坂部修一（2022 年 3 月 31 日付 事業部/JICA 竹橋勤務）

④採用

干川美奈子（8月1日付 クロスロード編集長）

馬場はるか（11月17日付 事業部／事務局勤務）

丸山奈菜（11月29日付 事業部／JICA市ヶ谷勤務）

小原麻子（2022年2月4日付 クロスロード編集部）

(2) 全国育てる会：会長交代

①埼玉国際青年を育てる会

前）星野和央（株式会社さきたま出版会会長）

新）時田巖（トキタ種苗株式会社代表取締役社長）

②千葉県 JICA 協力隊を育てる会

前）花澤和一（元一般社団法人千葉県経営者協会専務理事）

新）八林明生（元国際協力事業団北陸支部長）

③JICA 海外ボランティアひょうご応援団

前）高井芳朗（公益財団法人兵庫県国際交流協会理事長）

新）水口典久（公益財団法人兵庫県国際交流協会理事長）

④愛媛県青年海外協力隊を育てる会

前）井上善一（元瀬戸町長、タンザニア・園芸作物・1968-1）

新）土居英雄（株式会社愛媛新聞社代表取締役社長）

(3) 全国育てる会：事務局長交代

①秋田県青年海外協力隊を支援する会

前）今野庄蔵（エルディコンサルタント株式会社代表取締役 ※2021年3月8日逝去）

新）松橋秀男（大潟村役場産業振興課農業アドバイザー、1988-1・フィリピン・食用作物）

②にいがた青年海外協力隊を育てる会

前）横山容司郎（相場産業株式会社取締役、バングラデシュ・稲作・1980-2）

新）松本興太（株式会社 PNE PLANET 代表取締役、ヨルダン・柔道・2004-3）

③富山県青年海外協力隊を育てる会

前）内山弘幸（ザンビア・自動車整備・1988-1）

新）西村一也（富山国際大学付属高等学校教員、ミクロネシア・環境教育・2010-1）

④JICA 海外ボランティアひょうご応援団

前）福岡淳人（公益財団法人兵庫県国際交流協会事業推進部長）

新）上村治三（公益財団法人兵庫県国際交流協会事業推進部長）

以上

【2021 年度事業報告附属明細書について】

2021 年度事業報告における、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項」に規定する附属明細書「事業内容を補足する重要な事項」については、前述の事業報告内に含まれているため別途作成はいたしません。

2022 年度事業計画
2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで

2022 年度事業方針

【スローガン】

「協力隊は日本の宝、育てて活かす平和の種まき」

【基本方針】

1. 協力隊事業への支援を通じて、世界から信頼される日本と平和で豊かな社会を実現する人材を育成する。
2. 協力隊に参加しやすい社会環境を目指して、全国の育てる会組織の皆様と共に活動する。
3. 協力隊の活動を通じて得た隊員たちの経験が日本の地域社会の活性化に生かされるよう、帰国隊員と自治体、経済団体、市民団体等との橋渡しとなる役割を果たす。

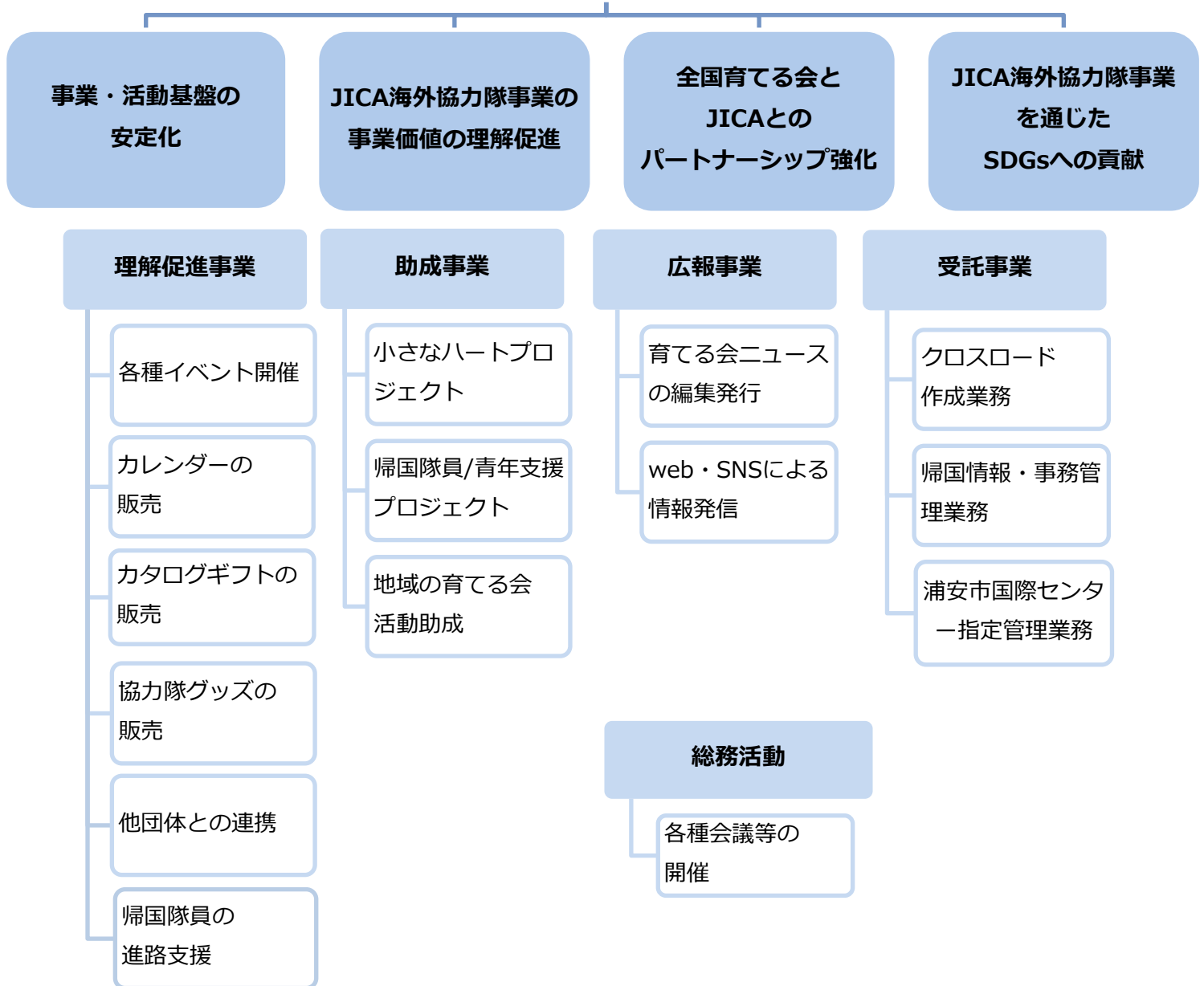
【重点活動】

1. 事業・活動基盤の安定化
2. JICA 海外協力隊の事業価値の理解促進
3. 全国育てる会と JICA 青年海外協力隊事務局とのパートナーシップ強化
4. JICA 海外協力隊事業を通じた「持続可能な開発目標」（Sustainable Development Goals）への貢献

協力隊を育てる会の使命

青年海外協力隊をはじめとする国際ボランティア（以下「協力隊等」という。）事業に市民の立場から参加しやすい社会環境を創り、次世代を担う人材の創出及び育成を図るとともに、協力隊等が得た経験を共有することで多様な価値観を尊重する平和で豊かな社会を築き、国際社会と地域社会の発展に寄与する。

重点活動



2022 年度事業計画

【重点事業】

1. 事業・活動基盤の安定化

1) 安定的な実施体制の構築と業務の質向上

実 施 : 通年

概 要 : 受託業務の確実な遂行、コロナ禍における育てる会活動の充実及び活性化

2) 全国育てる会活動予算の確保

実 施 : 通年

概 要 : 活動予算の確保検討及び交渉

2. JICA 海外協力隊の事業価値の理解促進

1) 全国ネットワークによる協力隊活動ならびに社会還元活動への支援

実 施 : 通年

概 要 : イベント開催等を通じた活動広報

2) 次世代育成を目的とした青少年団体等との事業連携の実現

実 施 : 通年

概 要 : 「青年海外協力隊帰国者の意識等に関する調査研究」の継続活動

3) 企業団体向けセミナーの開催

実 施 : 通年

概 要 : 受託業務として実施（年 4 回程度）

4) イベント等の開催

(1) 第 47 回通常総会シンポジウム

演 題 : 「地域を創る青年海外協力隊

～『青年海外協力隊帰国者の意識等に関する調査研究』から考える」

日 時 : 5 月 30 日（月）16 : 00～18 : 00

場 所 : 日本青年館

概 要 : 独立行政法人国立青少年教育振興機構、JICA、当会の三者にて実施した同調査研究をもとに、協力隊経験者という人材の価値や果たすべき役割について考える。

主 催 : 一般社団法人協力隊を育てる会

共 催 : 独立行政法人国立青少年教育振興機構

後 援 : 独立行政法人国際協力機構

講師等 : 明石要一（教育学者）、尾木直樹（尾木ママ／教育評論家）

東恵理子（株式会社東美濃ビアワークス代表取締役社長、バングラデシュ OG）
大西かおり（NPO 法人大杉谷自然学校長、フィリピン OG）
長壁総一郎（Licca 代表、東ティモール OB）
長壁早也花（Licca 代表、ラオス OG）
大嶋尚史（独立行政法人国立青少年教育振興機構青少年教育センター調査研究アドバイザー）
小林広幸（独立行政法人国際協力機構青年海外協力隊事務局長、タンザニア OB）

3. 全国育てる会と JICA 青年海外協力隊事務局とのパートナーシップ強化

1) 応募勸奨や社会還元促進等の推進協力

実 施 : 通年

2) 協力隊活動ならびに社会還元活動の事例収集と広報協力

実 施 : 通年

3) 全国育てる会代表者会議の開催

実 施 : 年度内の開催

4. JICA 海外協力隊事業を通じた「持続可能な開発目標」（SDGs）への貢献

1) カレンダーの制作・販売

概 要 : 帰国隊員提供の写真を使用したオリジナルカレンダー

仕 様 : A4 横／フルカラー／14 枚綴り（28P）／オリジナル名入れ・メッセージ印字

テーマ : 「ピース」

制作数 : 9,000 部 ※予定

制 作 : 5 月～8 月

販 売 : 9 月中旬 ※予定

特 典 : 購入者には先着順で SDGs バッジをプレゼント

2) カタログギフト「GLOBAL SPROUT」のリニューアルと販売

OBOG が関わる商品の情報をまとめ、Web 等の広報媒体にて紹介するとともにカタログギフトとして販売する。尚、今年度は帰国隊員による社会還元と持続可能な社会を目指す様々なステークホルダーとの繋がりを更に広げるべく、カタログ全体のリニューアルを図る。

概 要 : 帰国隊員が生産する食品・雑貨・化粧品等のカタログギフト販売

【理解促進事業】

1) 活動報告会の開催

国際理解や人材育成、経験の社会還元等、協力隊事業を広く市民に周知する場として、社会情勢に合わせながら活動報告会等を開催する。

(1) 新春の集い

実 施 : 2023 年 1 月 (予定)

2) 協力隊関連書籍及びグッズの販売

国際理解や人材育成、経験の社会還元等、協力隊事業を広く市民に周知することを目的に、書籍等の紹介販売を行う。

(1) 「持続する情熱」(ダイジェスト版)の販売

実 施 : 通年

対 象 : 隊員参加希望者、隊員家族、帰国隊員の採用に関心をもつ企業・団体・自治体等

(2) 協力隊 T シャツ、JOCV バッジの販売

実 施 : 通年

概 要 : 隊員参加希望者、派遣予定者、帰国隊員、隊員家族等

3) 他団体との連携

協力隊事業と育てる会活動の理解促進を目的に、社会情勢に合わせながら他団体の実施する各種イベント名地に参加し、市民に広く周知する。

(1) サマーコンファレンス 2022

主 催 : 公益社団法人日本青年会議所

実 施 : 7 月 16 日 (土) ~ 17 日 (日)

場 所 : 未定

(2) グローバルフェスタ 2022

主 催 : グローバルフェスタ実行委員会

実 施 : 9 月末 ~ 10 月初旬

場 所 : 未定

(3) 第 20 回日比谷公園ガーデニングショー 2022

主 催 : 日比谷公園ガーデニングショー実行委員会

実 施 : 10 月中下旬

場 所 : 未定

(4) 2023 年度京都会議

主 催 : 公益社団日本青年会議所

実 施 : 2023 年 1 月下旬

場 所 : 国立京都国際会館

(5) アフリカ救援節食ディナー

主 催 : 足利市ボランティア協会、社会福祉法人足利市社会福祉協議会
実 施 : 2023 年 2～3 月
場 所 : 足利市民会館

4) 帰国隊員の進路支援

就職や転職、進学等、帰国隊員の様々なニーズに対して、彼らの経験や持ち味が活かせる人生プランをアドバイスするとともに進路開拓の支援を行う。

(1) 進路相談の実施

実 施 : 通年
概 要 : 就職や転職、進学等へのアドバイス

【助成事業】

1) 小さなハートプロジェクト

国内からの一般寄付を基に、協力隊員が本来業務以外に企画実施する草の根プロジェクトを支援する。

支援金額 : 1 件につき上限 300,000 円
支援件数 : 未定
募集期間 : 通年
審 査 : 審査員により随時実施

2) 帰国隊員／青年支援プロジェクト

公益財団法人三菱 UFJ 国際財団の支援を基に、帰国隊員の国際協力活動及び調査研究活動を支援する。

支援金額 : 1 件につき上限 500,000 円
支援総額 : 2,700,000 円
募集期間 : 7 月 1 日 (金) ～8 月 31 日 (水)
審査選考 : 選考委員会にて 10 月頃実施

3) 全国育てる会活動助成

全国育てる会が実施する協力隊事業の理解促進等の諸活動に対し、助成金を給付する。

支援金額 : 状況に応じて決定
給付時期 : 状況に応じて決定
対象事業 : 以下の 4 事業

- ①協力隊に参加し易く、その経験を地域に活かす社会環境整備活
- ②協力隊事業の理解促進のための広報啓発活動
- ③「協力隊の応援団」を地域で増やす支援者拡充活動
- ④全国育てる会の連携活動

【広報事業】

1) 「協力隊を育てる会ニュース」の発行

全国育てる会と会員、派遣中隊員、帰国隊員、法人団体等の支援者とを結ぶ“育てる会活動の情報ツール”として、全国の活動や帰国隊員の取り組み、協力隊事業の動向等を紹介する。

発行数 : 約 4,000 部／毎月（赴任中の協力隊員には PDF 配信）

仕 様 : モノクロ／タブロイド版／4 ページ

構 成 : 1 面～最新トピックス、有識者による時評

2 面～全国育てる会や地域の支援者の活動紹介

3 面～派遣中隊員、帰国隊員の活動紹介

4 面～各種インフォメーション、ご芳名掲載

2) Web や SNS による情報提供

市民をはじめ隊員家族、派遣中隊員、帰国隊員等、協力隊事業ならびに育てる会活動を広く周知するため、Web や SNS を活用した広報を更に充実させるとともに以下の情報等を発信する。

- (1) 全国育てる会活動の最新トピックスや各種イベント情報（告知及び報告等）の提供
- (2) 帰国隊員が関わる事業や商品情報の提供
- (3) 各種支援情報の提供

3) メーリングリストによる情報提供

派遣中隊員や帰国隊員に育てる会活動を広く周知し、人的ネットワークの充実化と社会還元の推進を図るため、以下の情報等を発信する。

- (1) カレンダー写真の募集
- (2) 帰国報告会等講師の募集
- (3) 各種支援事業の告知
- (4) 就職・進学情報の告知
- (5) 全国育てる会からの情報提供
- (6) 会員等からの情報提供

4) 全国育てる会へのメーリングリストによる情報提供

JICA海外協力隊事業に関する知識・情報を蓄積するとともにより事業への関心を高めることを目的に、派遣中隊員の動向や帰国隊員による社会還元活動等の情報を以下のとおり発信する。

(1) メディア情報

内 容 : 全国紙や地方紙、web等から集めたJICA海外協力隊に関するニュース

配信回数 : 月に1～2回

(2) JOCV Update

内 容 : JICA青年海外協力隊事務局が国内機関等宛に発信している協力隊関連情報

配信回数 : 2週間に1回

【受託事業】

1) 2021-2024 年 JICA 海外協力隊の情報誌「クロスロード」作成業務

協力隊員が現地で活動・生活するうえで参考になり、かつボランティア及び事業関係者間で共有価値のある実践的情報を提供するとともに、帰国後に関する有益な情報提供を通じてボランティアの帰国後の進路開拓を促進し、その経験を社会への還元に結びつけるべく、業務を遂行する。

委託元 : 独立行政法人国際協力機構

業務内容 : JICA 海外協力隊実践ガイド（年 10 号）、OBOG 向け（年 1 号）、応募者向けガイド（年 1 号）の企画、取材、原稿執筆、編集、発行

契約期間 : 2021 年 7 月 1 日（木）～2024 年 9 月 30 日（月）

2) 2021-2023 年度 JICA 海外協力隊帰国情報事務管理・現職参加促進支援業務

帰国後の進路支援を円滑に実施できるよう、各種データの情報管理や進路支援制度の運用を効率的に推進するとともに、カウンセリングを通じて帰国隊員の進路開拓と帰国後の社会還元を促進させ、企業団体に対し JICA 海外協力隊事業の理解促進を図り、現職参加や帰国後採用を推進することでボランティアに対する社会的評価の向上に繋げるべく、業務を遂行する。

委託元 : 独立行政法人国際協力機構

業務内容 : 各種証明書発行やデータ整備、奨学制度等の事務手続き、進路相談カウンセリング業務、無料職業紹介業務、広報記事作成、理解促進セミナーの実施等

契約期間 : 2021 年 10 月 1 日（金）～2023 年 8 月 31 日（木）

3) 浦安市国際センター事業

市民の国際交流及び国際協力に関する情報提供ならびに市民の相互交流を図ることを目的とし、外国人市民への情報提供、国際交流・協力に関する情報発信、日本人市民と外国人市民の相互交流や交換場所の提供、更に相互交流の場となる拠点として市民の幅広いネットワークづくりを支援する。

委託元 : 浦安市

共同企業 : 公益社団法人青年海外協力協会

業務内容 : 浦安市国際センターにおける多文化共生講座、日本語学習支援教室運営等の運営補助（指定管理業務）

契約期間 : 2022 年 4 月 1 日（金）～2026 年 3 月 31 日（火）

【総務活動】

1) 各種会議の運営

一般社団法人としての的確な組織運営ならびに事業活動の推進を目的として、役員会等の各種会議を開催する。

(1) 第 47 回通常総会

開催日 : 5 月 30 日（月）13 : 30～

場 所 : 日本青年館

【プログラム】

第1部 通常総会（13：30～15：30）

第2部 シンポジウム「地域を創る青年海外協力隊」（16：00～18：00）

第3部 交流会（18：30～20：00）

(2) 理事会

年3回の開催（5月、12月、2023年3月）

(3) 常任理事会

原則として四半期ごとに開催

(4) 顧問・参与会議

原則として年2回程度開催

2) 各種交流会の開催

(1) 「新春の集い」

日 時 : 2023年1月

場 所 : 都内

(2) その他、各種表彰・叙勲等のお祝い会

開 催 : 随時

場 所 : 都内

3) 派遣隊員へのガイダンス

実 施 : 随時

場 所 : オンライン

概 要 : 育てる会活動の説明ならびに個人情報の収集

4) 帰国隊員へのオリエンテーション

時 期 : 随時

場 所 : オンライン

概 要 : 育てる会活動の説明ならびにメールアドレス等の収集

以上

2022 年度収支予算
2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日（決算）まで

2022 年度収支予算

(単位：円)

	科 目	2021予算 (A)	2022予算 (B)	(B) - (A)	備 考
	事業活動収入				
1	基本財産運用収入	1,000	1,000	0	定期預金
2	入会金収入	55,000	60,000	5,000	個人、法人、団体
3	会費収入	4,600,000	4,000,000	△ 600,000	個人、法人、団体
4	研修会費収入	615,000	700,000	85,000	総会交流会、新春の集い
5	広告料収入	1,500,000	2,500,000	1,000,000	育てる会ニュース
6	手数料収入	4,960,000	4,489,000	△ 471,000	クロスロード [®] 発送手数料、記念誌
7	カレンダー販売収入	4,300,000	4,400,000	100,000	9千部
8	帰国隊員等支接受託収入	46,115,000	52,000,000	5,885,000	カウンセラー、進路支援、サポーター宣言
9	クロス編集業務等受託収入	50,395,000	57,188,000	6,793,000	年12冊
10	その他受託収入	4,390,000	5,912,000	1,522,000	浦安、その他
11	助成金収入	3,000,000	3,000,000	0	三菱UFJ国際財団
12	寄付金収入	10,000	50,000	40,000	一般寄付
13	グローバルスプラウト	150,000	50,000	△ 100,000	
14	雑収入	2,252,000	1,001,000	△ 1,251,000	
	経常収益合計	122,343,000	135,351,000	13,008,000	
	事業活動支出				
15	給与手当	45,640,000	48,329,000	2,689,000	
16	退職掛金	1,380,000	1,380,000	0	
17	福利厚生費	6,715,000	8,108,000	1,393,000	
18	旅費交通費	1,340,000	2,700,000	1,360,000	各県イベント参加、クロス出張、職員スイカ
19	通信運搬費	6,989,000	5,956,000	△ 1,033,000	クロスロード [®] 発送、GIGAPOD、Zoom
20	会議費	200,000	200,000	0	
21	修繕費	1,000,000	1,028,000	28,000	コピーカウト、PCメンテナンス、ネットワーク保守
22	印刷製本費	9,615,000	11,709,000	2,094,000	クロスロード [®] 、カレンダー、ニュース
23	賃借料	5,455,000	5,569,000	114,000	家賃、OA機器リース、書類保管
24	光熱水費	520,000	510,000	△ 10,000	電気、水道
25	保険料	50,000	60,000	10,000	火災保険、団体福祉
26	諸謝金	2,680,000	4,478,000	1,798,000	クロスロード [®] 他
27	消耗品費	300,000	200,000	△ 100,000	
28	租税公課	4,153,000	4,754,000	601,000	消費税、登記
29	減価償却費	188,000	229,000	41,000	建物付属施設
30	仕入高	200,000	486,000	286,000	記念誌
31	支払負担金	2,471,000	2,033,000	△ 438,000	社労士、税理士、会費
32	支払助成金	6,200,000	6,100,000	△ 100,000	三菱、各県助成
33	委託費	23,361,000	26,289,000	2,928,000	
34	雑費	3,886,000	4,233,000	347,000	総会交流会、新春の集い
35	予備費	0	1,000,000	1,000,000	
	経常費用合計	122,343,000	135,351,000	13,008,000	
	事業活動収支差額	0	0	0	

第 1 号議案：2021 年度決算承認の件

決 算 報 告 書 (案)

(第 9 期)

自 2021 年 4 月 1 日

至 2022 年 3 月 31 日

正味財産増減計算書

令和 3 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日（決算）まで

法人名：一般社団法人協力隊を育てる会

事業名：事業全体

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
經常増減の部			
經常収益			
基本財産運用益	213	1,008	△795
基本財産受取利息	213	1,008	△795
受取入会金	11,000	54,000	△43,000
受取入会金	11,000	54,000	△43,000
受取会費	4,179,400	4,609,200	△429,800
正会員受取会費	4,179,400	4,609,200	△429,800
事業収益	116,937,338	103,653,686	13,283,652
広告料収入	2,424,400	1,526,800	897,600
手数料収入	4,164,488	4,384,929	△220,441
カレンダー等販売収入	4,772,800	4,538,200	234,600
帰国隊員等支援受託収入	51,100,709	40,349,245	10,751,464
クロス編集業務受託収入	53,789,982	50,328,814	3,461,168
GLOBAL SPROUT	53,559	187,720	△134,161
その他受託収入	631,400	2,337,978	△1,706,578
受取補助金等	3,000,000	3,000,000	0
受取民間助成金	3,000,000	3,000,000	0
受取寄付金	122,620	6,559	116,061
受取寄付金	122,620	6,559	116,061
雑収益	2,301,286	6,487,976	△4,186,690
受取利息	106	93	13
雑収益益計	2,301,180	6,487,883	△4,186,703
經常費用計	126,551,857	117,812,429	8,739,428
事業費用	105,630,337	97,383,578	8,246,759
給料手当当金	37,555,761	36,454,870	1,100,891
退職共済掛金	1,085,000	918,000	167,000
福利厚生費	5,439,426	5,630,822	△191,396
旅利厚交通費	1,776,230	1,173,149	603,081
通信運搬費	5,784,187	6,426,647	△642,460
消耗品費	18,436	7,073	11,363
修繕費	854,490	715,735	138,755
印刷製本費	10,828,565	9,934,893	893,672
仕入料高費	349,717	19,440	330,277
光熱水料費	261,310	266,425	△5,115
賃借料	2,455,504	2,421,010	34,494
保険料	51,840	36,240	15,600
諸謝金	7,092,560	2,340,000	4,752,560
租税公課	75,133	0	75,133
支払助成金	5,839,220	6,002,000	△162,780
委託費	22,526,800	21,978,136	548,664
雑費	3,636,158	3,059,138	577,020
管理費用	20,041,884	20,275,421	△233,537
給料手当当金	5,786,085	6,769,033	△982,948
退職共済掛金	275,000	222,000	53,000
福利厚生費	838,033	1,045,546	△207,513
旅利厚交通費	127,260	118,660	8,600
旅費	198,576	105,301	93,275
通信運搬費	427,948	521,328	△93,380
通減償却費	219,835	208,156	11,679
消耗品費	209,351	286,965	△77,614
修繕費	322,469	181,007	141,462

正味財産増減計算書

令和 3年 4月 1日から令和 4年 3月31日（決算）まで

法人名：一般社団法人協力隊を育てる会

事業名：事業全体

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
印刷製本費	89,485	89,952	△467
光熱水料費	261,311	266,424	△5,113
賃借料	3,028,646	3,007,766	20,880
保険料	17,476	18,540	△1,064
諸謝金	0	6,000	△6,000
租税公課	5,155,000	4,722,000	433,000
支払負担金	2,441,613	1,933,385	508,228
雑費	643,796	773,358	△129,562
経常費用計	125,672,221	117,658,999	8,013,222
評価損益等調整前当期経常増減額	879,636	153,430	726,206
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	879,636	153,430	726,206
経常増減の部			
経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	879,636	153,430	726,206
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	0
当期一般正味財産増減額	809,636	83,430	726,206
一般正味財産期首残高	40,329,949	40,246,519	83,430
一般正味財産期末残高	41,139,585	40,329,949	809,636
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	41,139,585	40,329,949	809,636

貸借対照表

令和 4 年 3 月 31 日現在（決算）

法人名：一般社団法人協力隊を育てる会

事業名：事業全体

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
流動資産			
現金預金	5,197,970	897,217	4,300,753
現金	46,448	25,951	20,497
普通預金	5,151,522	871,266	4,280,256
未収会費	90,000	60,000	30,000
未収払金	18,380,488	18,721,429	△340,941
前払蔵品	578,819	0	578,819
貯蔵品	51,083	49,789	1,294
商立替金	929,999	1,298,370	△368,371
預け金	356,988	1,000,460	△643,472
	2,500	2,000	500
流動資産合計	25,587,847	22,029,265	3,558,582
固定資産			
基本財産			
定期預金	20,000,000	20,000,000	0
基本財産合計	20,000,000	20,000,000	0
特定資産			
奨学貸付引当資産	0	2,250,000	△2,250,000
特定資産合計	0	2,250,000	△2,250,000
その他の固定資産			
建物附属設備	1,991,568	1,992,503	△935
什器備品	67,834	89,834	△22,000
保証金	1,770,558	1,770,558	0
長期前払費用	178,106	270,502	△92,396
奨学貸付金	1,250,000	1,750,000	△500,000
その他の固定資産合計	5,258,066	5,873,397	△615,331
固定資産合計	25,258,066	28,123,397	△2,865,331
資産合計	50,845,913	50,152,662	693,251
II 負 債 の 部			
流動負債			
未払金	4,547,149	4,475,195	71,954
前受金	617,600	682,000	△64,400
預り金	1,681,679	1,958,118	△276,439
未払消費税等	2,789,900	2,637,400	152,500
未払法人税等	70,000	70,000	0
流動負債合計	9,706,328	9,822,713	△116,385
負債合計	9,706,328	9,822,713	△116,385
III 正 味 財 産 の 部			
一般正味財産	41,139,585	40,329,949	809,636
正味財産合計	41,139,585	40,329,949	809,636
負債及び正味財産合計	50,845,913	50,152,662	693,251

財務諸表に対する注記

法人名：一般社団法人協力隊を育てる会

事業名：事業全体

1. 重要な会計方針

(1) 会計方針

「公益法人会計基準」（平成20年12月1日 内閣府公益認定等委員会）を採用している。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定額法によっている。

(4) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定期預金	20,000,000	0	0	20,000,000
奨学貸付引当資産	2,250,000	0	2,250,000	0
合 計	22,250,000	0	2,250,000	20,000,000

3. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	2,595,159	603,591	1,991,568
什器備品	110,000	42,166	67,834
合 計	2,705,159	645,757	2,059,402

4. その他

(1) その他

2021年度第2回理事会の決議により、馬場医療・福祉奨学金を廃止した為、奨学貸付引当資産を取り崩した。

(2) 表示方法の変更

なし

附属明細書

法人名：一般社団法人協力隊を育てる会

事業名：事業全体

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	定期預金	20,000,000	0	0	20,000,000
特定資産	奨学貸付引当資産	2,250,000	0	2,250,000	0

2022年4月25日

監査報告書

一般社団法人 協力隊を育てる会
代表理事 山本 保博 殿

監事 福 龍 建一 
監事 中 村 義 人 

私たち監事は、第9期事業年度（2021年4月1日から2022年3月31日まで）の事業報告、計算書類（貸借対照表、正味財産増減計算書、個別注記表）、附属明細書、その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

監事間の協議により監査方針を定め、理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧、調査し、必要に応じて当法人の理事等から職務の執行状況等について報告を受け、また随時説明を求め監査を実施いたしました。

2 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しているものと認めます。
- (2) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 計算書類とその附属明細書は、当法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

第 2 号議案：2022-2023 年度役員承認の件

2022-2023 年度役員（案）

一般社団法人協力隊を育てる会役員定数 理事：15 名以内／監事：2 名以内

理事候補者（計 14 名）／監事候補者（計 2 名）

※五十音順

理 事	再 任	明石 要一	千葉大学名誉教授、千葉敬愛短期大学学長
理 事	再 任	上田 みどり	広島県青年海外協力隊を育てる会会長
理 事	新 任	小井土 雄一	厚生労働省 DMAT 事務局長
理 事	再 任	澤田 澄子	公益社団法人企業メセナ協議会常務理事兼事務局長
理 事	新 任	白鳥 くるみ	アフリカ理解プロジェクト代表
理 事	再 任	杉下 恒夫	一般財団法人国際開発機構理事長
理 事	再 任	田口 努	公益財団法人日本 YMCA 同盟総主事・代表理事
理 事	再 任	棚田 一論	日本青年団協議会事務局長
理 事	再 任	土井 章	国際航業株式会社経営管理本部
理 事	再 任	松岡 和久	公益財団法人 CIESF 副理事長
理 事	再 任	水野 秀一	公益社団法人日本青年会議所事務局アドバイザー
理 事	再 任	山根木 晴久	日本労働組合総連合会副事務局長
理 事	再 任	山本 信也	一般財団法人日本青年館理事
理 事	再 任	山本 保博	医療法人伯鳳会東京曳舟病院院長
監 事	再 任	中村 義人	公認会計士
監 事	再 任	福瀧 健一	千葉県 JICA 協力隊を育てる会理事

※上記役員の任期は、2022 年 5 月 30 日から 2024 年 5 月開催予定の第 49 回通常総会日までとする。

